

大阪市立 瓜破西小学校



住所 〒547-0025 大阪市平野区瓜破西2-1-43

連絡先 ☎ 06-6704-0200 ☎ 06-6797-5065

校長 水上 紀代美

開校 昭和49年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751738>



教育目標

確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体を育成する

重点目標

【目指す子ども像】

- 主体的に学び、考え、ねばり強く取り組む子
- 互いの良さを認め合い、自分と友達を大切にする子
- 健康や体力の向上に努める子

教育方針

- 「本物に触れる機会」や「体験を通して実感を持って学ぶ」ことを重視し、様々な分野のゲストティーチャーを招いた出前授業を多く取り入れている。
また、動物の飼育や田んぼ作り、植樹・緑化・栽培・堆肥作り、ビオトープ活用など、自然豊かな環境を最大限に生かした活動を推進している。
- 基本的な生活習慣を大切に、特に、自発的な挨拶の習慣化を図っている。

運営に関する計画

【概要】

子どもたちが生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら、健全に成長できる学校生活を保障し、日頃の授業をはじめ、読書週間やかけあし週間、縦割り班活動等の各種取組を通じて、学力・体力の向上、自己肯定感の向上等を目指す。

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

1. 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
2. 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善割合を増加させる。
3. 小学校学力経年調査の「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
4. 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

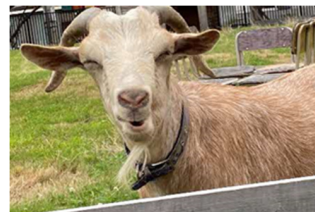
1. 小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。
2. 小学校学力経年調査における、国語および算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
3. 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

1. 小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を、75%以上にする。
2. 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。
3. 小学校学力経年調査の「読書は好きですか。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。
4. カリキュラム・マネジメントチェックシートの「教育活動の質の向上につなげるため、『教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる』『学校教育の効果を常に検証して改善する』『地域と連携し、よりよい学校教育をめざす』カリキュラムマネジメントの3つの側面をすべて実行できていますか」に対して肯定的に回答する割合を85%以上にする。

校長先生からのメッセージ

創立53年目を迎える本校は、「地域に開かれた学校」として豊かな伝統を築いてきました。一人ひとりの可能性を伸ばす教育を大切にし、伝統文化に親しむ太鼓クラブの活動も非常に盛んです。校内の「アトリパーク」にはヤギのアトリや多様な動植物が息づき、四季を肌で感じるビオトープでの学びも充実しています。伝統を重んじ自然を慈しむ環境の中で、思いやりの心をもって共に成長できる教育を推進しています。



R7年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	理科	
48	40	39	平均正答率(%)

●結果と概要／

全ての教科において大阪市・全国平均を大きく下回った。また、各教科の領域別の結果を見ても大阪市・全国平均を下回っており、無解答率も高い。

●取組の成果と課題／

[国語]

問題番号2四の漢字の書き取りの問題の正答率が低く、既習の漢字を文の中で使うことに課題がある。また、問題番号2二の調べたことを基に詳しく書く問題の無解答率が高く、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表すことに課題がある。

[算数]

問題番号1(4)の重さを求める式と答えを書く問題の正答率が低く、必要な情報を選び、数量の関係を式に表すことに課題がある。また、問題番号3(2)の共通する単位分数の幾つ分になるかを書く問題の正答率が低く、数や言葉を用いて記述することに課題がある。

[理科]

問題番号4(2)の水の結露について適切に説明しているものを選択する問題の正答率が高く、水の状態の変化について理解していることが分かる。しかし、問題番号1(2)の水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く問題の正答率が低く、結果を基に結論を導いた理由を表現することに課題がある。

R7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	16.27	18.33	33.20	33.87	34.47	9.74	149.50	17.27	47.85
女子	13.33	17.08	31.42	31.17	28.33	9.43	124.50	11.83	46.25

●結果と概要／

体力合計点は男女ともに全国・大阪市平均を下回っている。その内訳を見ると、男子は「握力」以外の項目で、女子は「50m走」の以外の項目で全国・大阪市平均を下回っている。

児童質問調査における質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について、女子は肯定的な回答の割合が高く、全国・大阪市平均よりも約7ポイント上回っている。

一方、男子は全国・大阪市平均を10ポイント以上下回った。また、「1週間の総運動時間」についても全国・大阪市平均を下回っており、とりわけ土日といった休日における運動時間が少ないことが課題である。

●取組の成果と課題／

本校は、児童数に対して運動場が大変広く、体育科の学習や休み時間には児童一人一人が十分に体を動かすことのできる環境が備わっている。また、毎週金曜日に地域の方々を行うラジオ体操は、仲間と体を動かし、心身ともに清々しく学校生活を送るための良い機会となっている。その他、「かけあし週間」「縄跳び週間」などの各種強化週間を定め、全校児童、地域の方々と一緒に体力づくりに取り組んでいる。

一方で、体育科の学習が楽しいと感じ、進んで活動している児童の割合が少ないことが課題である。今後は体育科の指導改善を図り、目標を達成することの喜びや友達と協力することの楽しさを実感できるような学習場面を設けていく。さらに、運動場の遊具などの環境整備を行い、児童が生涯にわたって運動に親しみ、健康体力の保持・増進に励むことができるよう取り組んでいく。

学校の特徴

地域に開かれた学校

本校では地域の方にご協力いただきながら、5年生の田植え・稲刈りなどの自然体験、1年生の普遊び体験などの様々な体験活動に取り組んでいます。また、毎週金曜日にはラジオ体操を地域の方と一緒にを行っています。今後も、「地域や社会に開かれた学校」の実現を目指し、学校だけでなく、地域・家庭と連携しながら子どもたちの成長を支えていきます。



充実した学力保障

放課後の時間を活用し、主に低学年の児童を対象として、基礎・基本的な学習内容の定着を図る取組を行っています。「わかった」「できた」という気持ちを積み重ねられるよう、教職員が丁寧に見守りながら進めています。



瓜西ネイチャークラブ

放課後の自主活動の取り組みとして瓜西ネイチャークラブが平成30年1月に発足しました。3年生の子どもがネイチャーキッズとして、4年生以上の子どもがネイチャークラブとして活動を行っています。本校自慢の自然豊かなアトリパークを活動の拠点とし、飼育しているヤギのアトリくんのお世話や、野菜の栽培活動、ピオトープの観察などを行っています。



太鼓クラブ

放課後の自主活動として、4年生以上の子どもが太鼓クラブの活動をしています。和太鼓の演奏を通して、日本の伝統文化に親しむとともに、根気強さや協調性を育むことを目指して活動を行っています。運動会や地域の行事など、様々な場面で演奏を披露しています。

